



過酷な現場へ挑む、 これが消防士の勝負服!!

消防士は、火災や救急など出動する現場により、さまざまな種類の服を着ます。また、普段の業務中に着る服や式典などで着る制服などもあります。それぞれの服の特徴や機能を紹介します。

問合せ 消防本部総務課 (☎373-3100)



救急服

落ち着いた色合い
で信頼度アップ!!



救急車で出動する隊員が着ているのが救急服です。
救急活動時に清潔感のあるイメージを持たせるため、灰色を使用しています。
出動時には青色を基調とした感染防止衣を着ています。

危険な現場で救助活動を行う、レスキュー隊員が着ているのが救助服です。一目で分かるように全国統一でオレンジ色を使用しています。強度があり、救助活動時のどんな場面でも快適に動けるよう伸縮性に優れた生地となっています。



救助服

現場で頼れる
オレンジカラー!!



活動服

ツートンカラーが
オシャレ!!



職員の中で一番着ている人が多い青色の服が活動服です。皆さんも見かけたことがあるのではないのでしょうか。消防隊員が普段の業務中に着ています。
数年前にデザインが一新されました。立体縫製で伸縮性に優れ、強度が高く、より活動しやすくなるよう細かな点も改良されています。

新しい防火服はここが違う！

●高い耐熱性

700℃以上の高熱にも耐えることができます（以前の防火服は400～550℃）。

●高い柔軟性

経年劣化による硬化の防止がされ、高い柔軟性があり隊員の動きを妨げません。

●優れた耐薬品性

水はもちろん、血液や化学薬品も通さないように加工され、隊員の体を守ります。

●熱中症対策

防火服の内側には3つのポケットがあり、炎天下での活動の際に冷却材を入れることができます。

●防火帽にもこだわりが！

防火帽（ヘルメット）も改良されました。頭の大きさに合わせて調節ができるためフィット感が増し、弾力性・吸水性のあるパッドが取り付けられました。

リニューアルしました!!

昨年度から、火災現場で着る防火服が新しくなりました。オリーブグリーンを基調とした色で、従来の物より優れた耐熱性・耐久性を発揮する、不燃・不溶なPBIファイバー（繊維）が使用されています。世界中の消防隊でも同じ生地が採用されています。

防火服

過酷な環境から
消防士を守る!!



旧デザイン



新デザイン



どの服も改良を重ね、
高性能な服となっています。

これからもこれらの「勝負服」を着て、
市民の安心・安全を守るため、
全力を尽くします！

続きはホームページで

さまざまな服を着て活動する消防士。
残念ながら、ここでは全部を紹介できませんでした。

続きは、市ホームページ「救急・防災→消防・救急」をご覧ください。

